

～100万本の花々と緑で彩る「美しい花と緑豊かなまち横浜」へ～  
**「第33回全国都市緑化よこはまフェア」3月25日（土）より開催**  
この春 横浜でしか見られないチューリップの新品種、市内最大級 10,000m<sup>2</sup>の大花壇が登場  
-- 開催期間：2017年3月25日（土）～6月4日（日） 72日間 --

横浜市では、これまで横浜が培ってきた歴史と文化、緑の取組をさらに広げ、「美しい花と緑豊かなまち横浜」を実現し、100万本の花々と緑で街を彩る「第33回全国都市緑化よこはまフェア」（以下「よこはまフェア」）を、3月25日（土）より開催します。

「全国都市緑化フェア」は、国土交通省提唱の下、1983年から全国各地で開催されている花と緑の祭典で、横浜市開催は初となり、通算33回目となります。愛称は、「ガーデンネックレス横浜2017」。桜、チューリップに加え、開港まもなく横浜から入り全国に普及したと言われる、市の花であるバラの3つをテーマフラワーに、横浜市内の花弁（かき）生産者の協力も得て、季節ごとに美しい花々で、市内各地を彩ります。会期中は、都心臨海部の「みなとガーデン」と、よこはま動物園ズーラシアに隣接する、自然豊かな「里山ガーデン」の2箇所をメイン会場に、三溪園、八景島、横浜イングリッシュガーデンをはじめとする7つのパートナー会場とも連携し、「よこはまフェア」を盛り上げてまいります。

◆ 「みなとガーデン」今春 横浜でしか見られないチューリップの新品種、約100種類の香りの草花を集めた「香りの庭」、横浜開港当時の雰囲気再現したミニチュア西洋館は必見。チームラボによる光と音のアート空間も登場

「みなとガーデン」は、山下公園、横浜公園、港の見える丘公園、グランモール公園、日本大通り、象の鼻パーク、運河パーク、新港中央広場の計8エリアで展開します。

横浜公園では、時間とともに白からピンク色に移り咲きし、この春、横浜でしか見られないチューリップの新品種「ラバースタウン」が登場。市民によって植えられた69種16万本のチューリップも咲き誇ります。港の見える丘公園では、約100種類の香りの草花を集めた「香りの庭」が、来場者を優しく包み込みます。さらに、山手西洋館を模したミニチュアもお目見えします。そのほか、12品種100本の桜コンテナが登場する山下公園、5月からはバラが各所で一斉に開花するなど、春から初夏にかけての絶好の散策スポットとして、皆様をお迎えします。



夜は、ウルトラテクノロジスト集団チームラボによる光と音のアート空間「人と木々とクリスタル花火」を、全長210m高さ14mの規模で展開。フェア公式テーマソング「GReeeeN「キミまつ」との連動演出も行うほか、山下公園、横浜公園、日本大通りで行うライトアップにより、光のトンネル、光のじゅうたんとなった花々が、道行く人々を感動に誘います。

◆ 「里山ガーデン」横浜の農家が育てた地場産の花々で彩る、市内最大級 10,000m<sup>2</sup>の大花壇！

「里山ガーデン」は、自然豊かな里山の景観が広がります。桜、チューリップに加え、横浜市内産のパンジー、ビオラをはじめとする、市内最大級 10,000m<sup>2</sup>の大花壇は、「よこはまフェア」最大の規模で、色とりどりの春の花を、圧巻なスケールでお楽しみいただけます。また、樹上から森を滑走する空中アスレチックをはじめ、グランピングやツリーテント、スラックラインなど幅広く体験いただけます。森の中のカフェ（MORI cafe）では、やオリジナルパンケーキなどをご用意。都会の喧騒から離れた里山ガーデンで、港エリアとは異なる緑豊かな横浜の魅力を体感いただけます。

「よこはまフェア」の開催期間は、3月25日（土）から6月4日（日）までの72日間で、国内や海外から訪れる方々を迎え、約500万人の来場者を見込んでいます。

【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先（掲載不可）】

第33回全国都市緑化よこはまフェア実行委員会 広報事務局 (株)ブレインズ・カンパニー 越水、荒川、田澤  
TEL：03-3568-3841 FAX：03-3568-3838 Mail：yokohamafair@pjbc.co.jp

--「第 33 回全国都市緑化よこはまフェア」メイン会場の見どころ--

里山ガーデン

みなとガーデン

**「里山ガーデン」**  
横浜の自然豊かな  
森と里山風景がひろがる  
よこはまフェア最大の大花壇も

**「みなとガーデン」**  
色鮮やかな花々で彩られる昼  
光や音のアートで魅せる幻想的な夜  
二つの表情が楽しめる

横浜産の花々で彩るフェア最大級 10,000m<sup>2</sup>の大花壇

花畑の中を散歩したり、デッキから大キャンパスを望んだり、ここでしか得られない体験を。



イメージパース

**フォレストアドベンチャーよこはま**

木々の間を滑走するアスレチックコース。  
お子さまから大人まで楽しめます。  
(有料、予約制※)



**グランピングサイト、森の広場**

森の中にカフェが登場。グランピングや  
ツリーテント、スラックラインが体験できます。  
(一部有料、予約制※)



※予約は 3 月以降順次。詳細は「よこはまフェア」HP へ

**谷戸の菜の花畑、9 万本のカキツバタ園**

菜の花畑や、神奈川県内で唯一・最大級の 9 万本のカキツバタが  
登場。懐かしくも美しい里山の風景が一面に広がります。

**花の里山**

天然記念物“日本五大桜”である「根屋谷淡墨ザクラ」「石戸蒲  
ザクラ」など、珍しいサクラも楽しめます。



イメージパース

**日本大通りフラワーフェスタ(日本大通り)**

会期前半は、サクラやチューリップなどが、GW からはバラが中心となる  
歩道を彩る花々が、全長約 200m に渡って、咲き誇ります。



イメージパース

**16 万本のチューリップ花壇(横浜公園)**

横浜市民が植えたチューリップに加え、  
この春、横浜でしか見られない新品種  
「ラバースタウン」も必見です。



**ハンギングバスケットの丘(港の見える丘公園)**

100 基以上のハンギングバスケットが並び、  
横浜の山手西洋館のミニチュアが登場。  
その精巧さには目を奪われます。



**シンボルキャラクター「ガーデンベアの庭」(象の鼻パーク)**

アートディレクター 伊藤有壱氏の手によって誕生した「ガーデンベア」が  
モチーフのシンボルガーデン。夜はライトアップも。

**チームラボ「人と木々とクリスタル花火」(グランモール公園)**

ウルトラテクノロジスト集団「チームラボ」による光と音のアート空間が  
登場。公式テーマソング GReeeeN「キミまつ」と連動した演出も。



## --「第 33 回全国都市緑化よこはまフェア」その他の見どころ--

### ● GReeeeN Garden で「キミマツ」MV フルバージョンを初公開〔赤レンガ倉庫 1 号館 2 階〕

「よこはまフェア」では、デビュー 10 周年の節目を迎えた人気ボーカルグループ「GReeeeN」を起用。フェア公式テーマソング「キミマツ」のミュージックビデオフルバージョンを、GReeeeN Garden で限定初公開します。さらに、彼らの直筆サインをプリントしたフェア応援メッセージも登場。GReeeeN の足跡を辿った数々の展示も行うなど、GReeeeN ファン必見の企画展を 3 月 29 日より 6 月 4 日まで行います。



### GReeeeN「キミマツ」について。

横浜の地を舞台に、男女の絆を描いたテーマソング「キミマツ」。作詞・作曲するにあたり、GReeeeN は、自身の足でフェア開催予定地を歩き、横浜開港の歴史と発展について学び、従来の楽曲制作以上に長い時間を掛けて構想を練りあげました。「キミマツ」ショートバージョンは、「よこはまフェア」公式サイトにて 1 月より公開しています。

さらに、フェア期間中は、「里山ガーデン」最寄り駅である相鉄線「鶴ヶ峰駅」「三ツ境駅」電車到着メロディーとして採用。また、みなとみらい線「みなとみらい駅」の改札外コンコースで、「キミマツ」BGM 放送をお楽しみいただけます。

<「相鉄線」発車メロディーについて>

- ・ 場 所：相鉄線「鶴ヶ峰駅」「三ツ境駅」上下線 到着メロディー
- ・ 放送時間：終日（上りホームはサビの部分、下りホームはイントロが流れます）
- ・ 放送期間：平成 29 年 3 月 25 日（土）～6 月 4 日（日）

<「みなとみらい線」BGM 放送について>

- ・ 場 所：みなとみらい線「みなとみらい駅」改札外コンコース
- ・ 放送時間：9：00～21：00
- ・ 放送期間：平成 29 年 3 月 25 日（土）～6 月 4 日（日）（予定）



GReeeeN「キミマツ」ミュージックビデオ

### ● 自治体出展花壇〔日本花通り、横浜公園〕など

「コンテナからあふれだす各地の街並み・風景花壇」をテーマに、次回の緑化フェア開催地である八王子市をはじめとする、全国 22 自治体の個性あふれる花壇が日本大通りと横浜公園に彩りを添えます。

また、市内を中心とする 45 の企業・団体による花壇が各所でお披露目。市民や学校主導の企画もあり、産官学民一体となった緑化フェアとなっています。



庭園イメージ

※プレスリリース中にある写真データは、下記 URL よりダウンロードいただけます。

<http://ur0.work/CsEI>

### 開催概要

開催理念：「歴史と未来の横浜・花と緑の物語」をテーマに、港町横浜の歴史・文化資源を花と緑で魅力を高め、世界を魅了する環境未来都市に向け、緑の創出を発信します

愛 称：「ガーデンネックレス横浜 2017」花や緑が「ネックレス」のように、まち、人、時をつなぎ、美しい横浜を表現します

開催期間：2017 年 3 月 25 日（土）～6 月 4 日（日）72 日間

会場構成：みなとガーデン（都心臨海部会場）、里山ガーデン（郊外部会場）

主 催 者：横浜市、公益財団法人都市緑化機構

運営主体：第 33 回全国都市緑化よこはまフェア実行委員会

本数等：みなとガーデン 55 万本 1,000 種類以上、里山ガーデン 45 万本 約 200 種類、両ガーデン 100 万本 1,000 種類以上

公式 HP：<http://yokohama-fair2017.city.yokohama.lg.jp/>



**開港時、東西花貿易の一大拠点だった横浜。この春、「よこはまフェア」でしか見られない、横浜ゆかりのバラ「セント オブ ヨコハマ」や、幻のユリ「マドンナリリー」は必見！**

**◆ 開港まもなく、横浜から日本に上陸した西洋バラ**

今から150年以上前、横浜開港とともに、バラは日本に上陸し、当時は、「いばらぼたん」や「洋ぼたん」と名付けられ、一般の市民には手に入らない高嶺の花でした。その後、新種のバラの輸入や増殖が盛んになり、全国的にバラが普及。昭和50年代後半になると、バラを「市の花」に制定しようという市民運動が起き、市政100周年、開港130周年にあたる平成元年（1989）には、市民投票により、バラが「市の花」に制定されました。長い歴史の中で、横浜市民に愛されてきたバラ。「よこはまフェア」では、この春、ここでしか見られない、横浜ゆかりのバラが登場します。



当時、山手の洋館にはバラの花が植えられていた  
(横浜開港資料館所蔵「明治の日本」)

**「ル ポール ロマンティーク」  
山下公園 未来のバラ園**

花名の意味は「ロマンチックな港」。かつてフランス波止場だった山下公園の中央に植栽されます。数輪の房になり花つきが良いため、満開時は、圧巻の景色に！



**「メッセージ ドゥ ヨコハマ」  
日本大通り**

花名の意味は「横浜からのメッセージ」。中心がほんのりと淡いピンク色に染まり、日本大通りを、うっとりとする良い香りで包み込みます。



**「セント オブ ヨコハマ」  
港の見える丘公園 香りの庭**

花名の意味は「横浜の香り」。この春、横浜だけでしか見られないバラ。必見です。



(作出：横浜イングリッシュガーデン スーパーバイザー 河合伸志氏)

**◆ ユリ根貿易で栄えた花貿易港、横浜**

1859年に、近代国際貿易港として開港した横浜港。明治時代には、外国人プラントハンターらによって紹介された日本のユリは、海外で評判となり、横浜の居留外国人による花貿易がはじまります。19世紀ヨーロッパで、熱狂的に受容されたユリ根貿易は、横浜港の独壇場でした。まさに、横浜は、東西花貿易の一大拠点。また、現在は植物園でしか見ることができないヨーロッパ原産の幻の「マドンナリリー」を、期間限定で販売・展示します。

〔販売：赤レンガ倉庫1号館1階 5月16日～22日 展示：赤レンガ倉庫1号館2階 5月27日～6月4日〕

※販売は球根です。生花ではありません。 ※また球根は数量限定です。



Lilies of Japan 1899(明治 32)年刊  
横浜植木株式会社が発行した、外国向けユリの図譜。  
欧米でとくに人気があった日本のユリはヤマユリであった。  
横浜植木株式会社蔵



ユリ根選別の光景 「Descriptive Catalogue 1909-10」より  
横浜植木株式会社蔵



聖母マリア様を象徴し、西洋画においてとても重要なモチーフとなった「マドンナリリー」。ヨーロッパに自生した原種のユリで、見られるのはごくわずか。純白の花弁とやわらかい香りが特徴。